

平成29年度 南アルプス市社会福祉協議会事業報告

《総務部門》

1 会務の運営

① 会議の開催

名 称	内 容	開催回数・日付
正副会長会議	理事会、評議員会の対応について他	4回
理事会	第1回 平成28年度事業報告、決算他 第2回 会長、副会長の選任について他 第3回 平成29年度資金収支第1次補正予算他 第4回 平成30年度事業計画、予算他	5月26日 6月15日 12月8日 H30年 3月12日
評議員会	第1回 平成28年度事業報告、決算他 第2回 平成29年度資金収支第1次補正予算他 第3回 平成30年度事業計画、予算他	6月15日 12月19日 H30年 3月23日
監事会	平成28年度定期監査	5月17日
評議員選任・解任委員会	第1回 評議員の解任・選任 第2回 評議員の選任	6月13日 6月22日
会長からの諮問委員会	長期中期計画検討委員会 経営適正化検討委員会	6回 4回
庁内会議	会長、副会長、局長、次長、課長、施設長、所長による全体会議	13回
チーム担当者会議	研修チーム会議	3回
職員チーム制会議	課を超えた横断的なチーム編成での会議	60回
苦情解決第三者委員会	平成28年度の苦情・ヒヤリハット報告会(54件)	1回

② 役員の研修、事業等参加協力

名 称	開催日	参 加 者
社会福祉協議会活動全国会議	6月28, 29日	理事 1名
街頭募金(市内各所)	10月2日	理事 16名
市社会福祉大会	11月19日	理事・監事 14名 評議員 9名
県社会福祉大会	11月21日	理事・監事 3名 評議員 2名
職員研修(マネジメントの実践を振り返る)	2月13日	理事・監事 4名
県やまなし福祉救援活動フォーラム	3月2日	理事・監事 2名 評議員 3名
ファンディング研修	3月14日	理事・監事 6名

社会福祉協議会受付簿記載の人数であり、個別での参加人数は除く

③ 会費納入状況 (H30. 3. 31 現在)

一般会費

地 区	実世帯(戸) (H29. 4. 1 現在)	自治会加入世帯 (H29. 6. 1 現在)	会 員 戸 数	金 額 (円)
八 田	2, 8 0 8	1, 9 7 0	1, 6 7 0	1, 6 7 0, 0 0 0
白 根	7, 6 7 1	5, 5 8 6	4, 7 5 9	4, 6 3 0, 6 0 0
芦 安	1 4 2	1 4 4	1 1 4	1 1 4, 0 0 0
若 草	4, 7 0 4	3, 0 0 3	2, 6 4 5	2, 6 4 5, 0 0 0
櫛 形	7, 1 7 1	5, 7 7 3	4, 5 7 3	4, 5 7 1, 4 0 0
甲 西	4, 8 3 9	3, 5 8 0	2, 9 8 5	2, 9 8 3, 1 0 0
合 計	2 7, 3 3 5	2 0, 0 5 6	1 6, 7 4 6	1 6, 6 1 4, 1 0 0

賛助会費/特別会費納入状況 (H30. 3. 31 現在)

区 分	会 員 数	口 数	金 額 (円)
賛助会費	8 1 名	1 6 2 口	1 6 2, 0 0 0
特別会費	4 4 団体	6 2 口	3 0 4, 0 0 0
合 計			4 6 6, 0 0 0

④ 職員研修

実施主体	内 容	研修場所
全社協 市町村職員研修 山梨県社協 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関東ブロック郡市町村社協職員 合同研究協議会 (3) ・ 社会福祉協議会活動全国会議 (1) ・ 雇用管理セミナー (1) ・ 年末調整研修 (1) ・ 市区町村社会福祉協議会管理職員研修 (1) ・ 社会福祉施設事務 (労務、給与) 担当者 基礎研修 (1) ・ 社会福祉施設事務 (経理) 担当者 基礎研修 (1) <p style="text-align: right;">延べ 9名</p>	埼玉県ソニックシティ ニッソーホール/灘尾ホール 甲府市総合市民会館 応研株式会社東京本社 ロフォス湘南 山梨県社会福祉協議会 山梨県社会福祉協議会
山梨県警	・ 安全運転管理者講習	3名 櫛形生涯学習センター他

⑤ 内部研修

研 修 日	内 容	講 師	参加者
6月26日	決算報告会		40名
11月28日	管理職とは(伝達研修)	成年後見センター所長	10名
12月13日	南アルプス市社協の将来について考える	武蔵野大学教授 渡辺裕一氏	40名

2月13日	マネジメントの実践を振り返る	株式会社川原経営総合センター 高橋喜彦氏	36名
3月14日	ファンドレイジング研修	元山口県社会福祉協議会 久津摩和弘氏	16名

⑥ 苦情・事故・ヒヤリハット報告 (H30.3.31 現在)

苦情	事故(車両事故含む)	ヒヤリハット	合計
15件	43件	8件	66件

苦情の内容及び対応・結果の概要 (15件)

No	部署	内容	対応・解決結果等
1	居宅支援	担当ケアマネが3月末で変更になった利用者支援しているボランティアの方から、早く後任者に会い関係を繋ぎたいと前任者に伝えてあったがなんの連絡もないとの苦情があった。	苦情申出者に謝罪し、改めて利用者の支援の全容を確認する。今後は普段からケアマネジメントの全容がわかる記録をつけ、全容を把握し毎年ケースの概要をまとめる。
2	わかさ デイサービスセンター	利用者のご家族から、迎えが遅い、忘れていたのではないかと苦情の電話があり、激怒され話を聞いていただけない状況になってしまった。	ご家族に謝罪し、CMに連絡。5分ほどの遅れであったため連絡はしなかったことが原因。また週3回の利用で迎え時間にばらつきがあるため、早い時間に統一するなどに対応していく。
3	居宅支援	社協ケアマネが担当する利用者の妻から包括支援センターに「施設に入れたい」「ケアマネが話を聞いてくれない。代えて欲しい」との苦情があったことがわかる。	事実確認を行う。担当者会議で妻に資料がなかった(家族に1部)などで不信感をもたれた。ケアマネ側の気持ちが伝えきれない部分もあった。謝罪し、担当は交代。
4	居宅支援	利用者のご家族から、前任のケアマネ(他の課に異動)に「担当を代えてほしい」と苦情があった。	課長、現任のケアマネと共に謝罪。初対面から印象が悪く、訪問や利用者との面会調整の際の説明も独善的で四角四面に感じていたことがわかった。担当を交代する。
5	居宅支援	No.3,4 についての結果報告	①該当ケアマネは振り返りを行った。 ②ケアマネは交代、今後の方針の確定。 ③該当ケアマネが支援困難と感じるケースへの課内支援(同行等)を行う。
6	総務課	サロンの代表者がバスの運行行程表を提出した。運転手から直接電話があり、変更したほうが良いことなど強い口調で言われ、恐ろしかった。運転手を変更して欲しい。	運転手に聞き取り。担当職員から代表者に連絡、説明し謝罪。運転手の変更は出来ないことを告げる。実際の運行は問題なく終わった。今後は下見の徹底、対応の仕方の見直しを行う。

7	地域福祉課	食の自立サービス利用者が急な入院で2日分の配達が必要になり、2日目にご家族がキャンセルを業者に伝えようと自宅で待っていたが、業者はチャイムを鳴らし、玄関先に弁当を置き顔も合せず立ち去った。	ご家族から市に「安否確認もせず見守りになるのか。1日目の弁当もなかった」との苦情。市から社協へ連絡があり地域福祉課で対応。配達手順の徹底と社協との連携を再確認する。
8	総務課	昨年バスの予約でトラブルがあり、バスの予約は2ヶ月前の前日の朝8時30分から予約を受けると説明を受けたため、8時29分に予約の電話をしたら先約有と言われた。納得がいかない。	8時20分～25分間に他団体から予約の電話が有りA職員が受けた。苦情当事者からの電話はB職員が受けた。予約の方法も徹底されていなかった。両団体共にバスを手配することとした。
9	慈恵寮	近隣の家の方から、納涼祭の時所有する土地に関係者と思われる車両が無断で駐車している。駐車場係(安協)が誘導していると苦情があった。その場で謝罪した。	翌日施設長が謝罪に伺う。これまでも同様だったが家族が声掛けをして止めていた。今回は安協が誘導したと聞き頭に来た。今後の協力は出来るとのこと。
10	総務課	H29年1月に死亡し交代した民生委員のご主人から「社協に言っているのにその後も通知が来る。どうなっているのか」と地元の避難訓練の際副市長に訴えがあった。	副市長から社協に連絡あり。職員がきいていたがフォルダの名簿に反映されていなかった。次長、総務課長が訪問し謝罪する。今後は福祉総合相談課から連絡をもらえることになった。
11	慈恵寮	苦情申出人が来所、オレンジの社協の服を着た職員が慈恵寮南側フェンスを越え外に出るのを見た。これまでも何回か見ている。職員の行動としてふさわしくないのではなおしてほしい。	施設長が受付、謝罪。当日勤務の職員に心当たりがあり何度かしているとのこと。寮内の池の水の側溝入口が詰まると最短距離と思いしてしまった。今後しないよう指導する。
12	総務課	メール便配達の方から、総務課に、若草健康センターの右側のポストの入り口がふさがれていて宛名によって配達に困る時がある。以前にも伝えてある。と意見がある。	謝罪し、以前のご意見時、デイの方のポストで受け取ると確認した、再度徹底することを伝える。右側のポストは4月から工事があることもあり開けないことを確認する。
13	地域福祉課	通所E利用者の家族から、利用中支援員から手を出されたり不公平な扱いをされている。また脳トレばかりでなく他の活動もしてほしいと社協あてにメールが寄せられる。	支援員の指導、実施内容の改善、今後の利用時に支障がないようにとの要望あり。支援員への聞き取りをし、利用者にはそのような気持ちにさせてしまった謝罪を行う。
14	総務課	市総務部へ、2/7に石和マルハン駐車場に市のバスが普通車スペースを占領して停まっていたとの匿名の電話があった。市から社協へ問合せあり。	当日の運行予定は小瀬であったが、運転手に確認。該当することが判明した。昼食時該当店舗で停車してしまった。運転手、委託先へ注意、市へ報告した。
15	総務課	一般の方から電話での苦情。社協の名を付けた車がコンビニからすごい勢いで出てきて運転も荒い。職員にどういう指導をしているのか。貸出車だとしても社協が指導するべきだ。	謝罪する。ナンバーから車いす車両で一般の方へ貸出中であることがわかる。返却の際貸出者から事情を聞くと心当たりがあり謝罪していただく。今後一般の方の運転マナーの啓発を検討する。

⑦ 福祉バス運行事業（補助金）

	運行回数（温泉）	乗車人数（温泉）
楡形福祉バス	128（49）	1,853（348）
若草福祉バス	197（132）	1,650（378）
計	325（181）	3,503（726）

⑧ 広報活動（会費・共同募金）

- ・社協だより発行 年2回（7月1日・2月1日） 総配布 20,581部
- ・ボランティアじょうほう「手をつなごう」毎月1日発行 総配布 20,400部
- ・ホームページ設置 ホームページアドレス (<http://www.minami-alpsshakyo.or.jp>)
- ・フェイスブック 10月開設 掲載記事 54 いいね数 398
- ・マスコットキャラクター「しゃきよん」・桃源郷マラソン
・甲西ふるさと祭り・野牛島地区文化祭

⑨ 福祉大会の開催（会費・共同募金）

- ・日時 平成29年11月19日（日） 楡形生涯学習センター
参加者300名
- ・内容 表彰 民間社会福祉施設、団体役職員功労表彰 9名
社会福祉活動功労 1団体
介護功労 1名
金品寄附・労力提供 2団体
福祉ポスター入賞者 12名 金婚祝い贈呈 44組
- 講演 『橘組長の闘病 -ホスピス桃源にて-』 南アルプス桃源座

2 指定管理施設及び管理施設の管理・経営

施設名	利用人数		
	会議室貸出等	通所E	合計
白根げんき館（指定管理）	3,056	1,628	4,684
甲西保健福祉センター （指定管理）	11,726	1,577	13,303
若草健康センター （補助金）	37,499	0	37,499

《事業部門》

1 地域福祉活動の推進

地域に暮らす人達が主体となり、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせる仕組みをつくるための「生活支援体制整備協議体」への取り組みを進めている。29年度中には旧町村ごとに小学校区単位で1地区の設置を目指していたが、目標を上回り10地区での設置が進んでいる。また、27年度から継続して開催している、住民一人ひとりが自分事として捉える視点や、気づきの視点を養うための「ふくし勉強会」は、若いうちから「ふくし」への関心を持てる様、従来

の対象者に加え中、高、大学生にも学校を通して参加を呼びかけた。世代を超えた意見交換により、それぞれの世代の考えを知ったうえで、自分には何が出来るのか、自分たちの世代は何をすべきなのかという考えにもつながった。

29年度の新たな取り組みとして、2050年問題等社会的にも大きな課題となっている超高齢化社会に向けて、定年後の方を中心にした「社会参加セミナー」を開催した。これは、第2の人生も役割を持ち生き生きと過ごすためのきっかけとして継続的に開催する予定である。

① 職員の質の向上

研修日	内 容	参加者
5月27日～1月14日(9日)	社会福祉士基礎研修(県社会福祉士会)	1名
7月25日～26日	地域共生社会実現にむけた福祉教育の実践(全社協)	2名
9月4日～5日	災害ボランティアセンター運営者研修(全社協、茨城県社協、日立市社協)	2名
9月7日	キャリアパス研修 モチベーションアップ	2名
9月10日・25日 10月1日・15日	防災士フォローアップ研修(山梨県)	1名
9月22日	生活支援コーディネーター養成・スキルアップ研修会(山梨県長寿推進課)	2名
9月26日	生活支援コーディネーター勉強会(さわやか福祉財団)	2名
10月30日	さわやか財団全国交流フォーラム(さわやか財団)	3名
11月1日～29日(4日)	甲斐の国・防災リーダー養成講座(山梨県)	1名
11月8日、12月6日	社協活動基盤強化・実践研修会(県社協)	5名
11月22日	福祉従事者のための権利擁護制度(成年後見センター)	1名
12月9日	やまなしボランティア・絆フォーラム2017 日本地域福祉学会関東甲信越静部会研究集会「民間非営利セクターの中間支援にシン(真・新・信・深)に求められることは何か」	7名
1月14日	生活支援体制整備事業推進セミナー(全国コミュニティライフサポートセンター、ご近所福祉クリエイション)	3名
3月16日	生活支援コーディネーター養成・スキルアップ研修会(山梨県)	3名

② 各関係機関の依頼による講師

●防災講話 自治会、学校、サロンなどへ防災講話を実施

実施回数	31回	延べ参加者数	2,320名
------	-----	--------	--------

●ボランティアについて 各種団体へ説明

実施回数	6回	延べ参加人数	108名
------	----	--------	------

●サロン説明 各種団体へ説明

実施回数	2回	延べ参加人数	25名
------	----	--------	-----

●ふくし教育の実施 市内小中学校

実施校	17校	延べ実施数	71クラス
-----	-----	-------	-------

③ 相談援助実習生受入

学 校 名	受け入れ期間	人 数
山梨県立大学【3年】	8月14日～9月14日	2名
山梨県立大学【2年】	10月3日・17日・24日・31日	64名
健康科学大学【3年】	1月24日～2月22日	2名
健康科学大学【2年】	9月28日	20名
計		88名

④ ふれあい生き生きサロン（会費・共同募金）

サロン助成金対象 59サロン
研修会の開催 2回 100名

●高齢者サロン

開催箇所数	50箇所
開催回数	1,015回
参加者延べ人数	15,520名

●子育てサロン

開催箇所数	1箇所
開催回数	13回
参加者延べ人数	245名

●障がい者サロン

開催箇所数	2箇所
開催回数	24回
参加者延べ人数	381名

⑤ 福祉運動会（会費・共同募金）

地 区	開 催 日	会 場	参加者数
八田地区	10月14日	すぱーく八田	270名
白根地区	10月18日	すぱーく白根	420名
芦安地区	9月18日	芦安小学校校庭	雨天のため小学校 のみの運動会
若草地区	10月23日	若草体育館	250名
甲西地区	10月21日	甲西体育センター	260名
合 計			1,200名

⑥ 生活支援体制整備協議体（ふくし小委員会・井戸端会議）（会費・共同募金）

住み慣れた地域に住み続けるために地域の課題を地域住民で解決する仕組みを考える場

地 区	開 催 日
八田地区（八田ふれあいプロジェクト）	4月19日、5月11日・18日、6月11日、7月3日、10月5日・25日・30日、12月14日、3月6日・10日
八田地区協議体	7月29日、8月18日、9月22日、10月25日、11月24日、12月18日、1月26日、2月21日、3月21日
白根東地区協議体	5月31日、7月26日、9月26日、11月22日、1月24日、3月28日
白根源地区協議体	12月11日、2月23日
白根飯野地区協議体	1月27日、2月7日、3月8日・9日
若草北地区（小委員会）	4月26日、5月16日、6月15日、7月5日、7月24日、10月6日、11月9日、12月18日、1月12日、2月14日、3月6日・14日
SCわかなん（若草南協議体）	5月1日・30日、6月27日、7月14日、8月29日、9月19日、10月31日、11月28日、12月26日、1月30日、2月27日、3月6日・27日
楡形西地区協議体	5月24日、6月21日、7月28日、9月15日、10月24日、11月21日、2月8日、3月28日
楡形北地区協議体	12月8日、1月30日、3月29日
楡形曲輪田地区（井戸端）	5月20日、6月17日、7月15日、8月19日、9月16日、10月28日、11月25日、1月20日、2月17日、3月17日
楡形下町地区（井戸端）	4月7日、5月23日・29日、6月5日、7月13日、8月22日
芦安地区協議体	8月10日、9月19日・24日、10月26日、11月20日、1月17日、2月6日、3月22日
おちえ～ささえ愛応援団（甲西落合地区協議体）	9月10日、10月23日、11月20日、12月18日、1月29日、2月26日、3月26日

2 在宅福祉活動の推進

① 社協独自事業

●おやつサービス（会費）

80歳以上のひとり暮らし高齢者等に手づくりおやつを配食し安否確認

実施回数	82回	延べ利用人数	7,858名
------	-----	--------	--------

●通院サービス（補助金）

65歳以上の一人暮らし高齢者等で通院手段のない方（非課税世帯）

登録者数	52名	延べ利用人数	832名
------	-----	--------	------

●福祉機器等貸し出し事業（会費）

- ・車椅子車両 351件
- ・車椅子 84件
- ・自治会への車両貸出し事業 11回
- ・高齢者疑似体験セット 5件

●ふくし生活支援サービス（会費）

サポーター数	69名	サービス提供回数	162回
--------	-----	----------	------

② 介護福祉課委託事業

●通所型サービスE事業（介護認定を受けていない65歳以上の方）

	実人数	延べ利用人数	備考
八田地区	20人	761人	1箇所
白根地区	43人	1,626人	1箇所
芦安地区	5人	191人	1箇所
若草地区	38人	2,438人	4箇所
甲西地区	40人	1,577人	1箇所
計	146人	6,593人	8箇所

●食の自立支援事業（おおむね65歳以上の虚弱一人暮らし高齢者）

実人数	延べ利用食数	備考
100名	13,362食	365日対応

●芦安通院サービス事業（おおむね65歳以上で通院手段の無い方）

登録者数	18名	延べ利用人数	212名
------	-----	--------	------

●生きがいと健康づくり講座

講座名	回数	延べ参加者数
絵手紙教室 森教室	10回	82名
絵手紙教室 青柳教室	11回	130名
民踊教室	10回	193名
カラオケ教室	11回	57名
フラダンス教室	12回	388名
健康料理教室	11回	303名
らくらくヨガ	10回	54名
高齢者地域元気健康体操教室	11回	141名
合計 7講座・8教室	86回	1,348名

●介護支援ボランティア・ポイント制度事業

登録者数	148名	延べ活動回数	1,506回
活動受入施設	42カ所	在宅支援数	14名
ポイント活用申請者数	55名	合計ポイント数	2,354

開催日	研修内容	参加者数
5月12日、6月19日、 11月29日	養成研修	55名

3 援護対策事業（補助等）

●利子補給事業（補助）

生活福祉資金利子補給事業 0件

居室整備資金利子補給事業 0件

●社会福祉金庫貸付事業

貸付合計 46件 4,468,000円

新規貸付 7件 510,000円

29年度償還 19件 721,500円

償還完了 9件

徴収不能処理 2件 115,000円

貸付残額 2,397,595円

●生活福祉資金貸付事業

新規貸付 0件

●居室整備資金貸付事業 0件

4 ふくし相談支援センター（委託）

コミュニティソーシャルワーカー（CSW）は、生活のしづらさを抱えている一人ひとりに寄り添うきめ細かな相談支援を行い、相談者を必要な支援に繋いだり、住民や関係機関と連携して個別や地域の課題を解決し、住みやすい地域をつくるための活動を行う。

① 相談件数 実 418人（新規201人） 延べ 8,149件

相談支援内容	延件数	連携機関	延件数
金銭問題	486	本人	3,323
住居問題	145	同居家族	301
生活問題	6,265	別居家族	297
法律問題	0	地域住民・知人	364
家庭・環境問題	170	民生委員	678
健康問題	387	医療機関	314
労働問題	1	警察・保健所	56
教育問題	11	学校・保育所等	10
就労問題	24	福祉総合相談課（生活保護）	271

介護問題	274	福祉総合相談課（相談支援）	192
その他	386	地域包括支援センター	615
新規相談経路	実人数	社会福祉協議会内	643
本人	38	ケアマネジャー	273
家族	16	障害者相談支援センター	88
地域住民・知人	13	障害者計画相談	59
民生児童委員	57	サービス提供事業所（高・障）	66
警察・保健所	2	就労準備支援事業所	1
福祉総合相談課	10	企業／NPO	195
地域包括支援センター	30	ハローワーク	4
ケアマネジャー・事業所	6	その他	397
障害者計画相談	3		
企業・NPO	1		
社会福祉協議会内	14		
その他	11		

② 職員の質の向上

研修日	内容	参加者数
4月26日	子どもの貧困を考える研修会（山梨県社会教育課）	2名
5月27日～1月14日（9日間）	社会福祉士基礎研修Ⅱ（山梨県社会福祉士会）	1名
9月6日	相談援助技術研修会（県社協）	1名
9月21日～22日	地域生活支援ワーカー（地域福祉コーディネーター）リーダー研修会（全社協）	3名
10月12日	認知症キャラバンメイト養成講座（介護実習普及センター）	4名
10月24日	生活困窮者自立支援事業「制度普及研修会」（県社協）	2名
11月25日～26日	コミュニティに強いソーシャルワーカーを養成する研修（日本SW教育学校連盟）	2名
12月9日	地域共生社会を見ずえた、包括的な相談支援研修	5名
1月24日	シニア世代就労セミナー（やまなしシニア世代就労推進協議会）	3名
1月26日	罪を犯した人への地域支援実務研修（山梨県地域生活定着支援センター）	2名
1月26日	権利擁護を学ぶ研修会	3名
1月30日	中北地域セーフティーネット連絡会議（山梨県中北保健所）	1名
2月17日	地域ささえ愛セミナー2018（南アルプス市福祉総合相談課）	5名

3月19日	中北管内認知症地域連絡会（中北保健福祉事務所）	1名
3月23日	障害者相談支援スキルアップ研修会2018 野中式に学ぶ本人中心の相談支援（障害者自立支援協議会）	5名
第2、4火曜日	内部研修（貸付制度、成年後見制度、日常自立支援制度、アセスメントの深め方、住民との協働の方法、29年度課題整理）	
通年 1回/週	ケース共有、事例検討	

③ 啓発活動

日程	内容	啓発活動を行った機関
6月	ふくし相談支援センターのチラシ設置拡大	金融機関、スーパー、警察署、遊技場、コンビニ、農協、郵便局、病院、小売店、美容室、温泉、学童、市役所 他 計154箇所
第3火曜日	出張ふくし相談会	民生委員、自治会、市広報、回覧板で地域住民
7月30日、12月16日、2月18日	ふくし勉強会2017	民生委員、自治会、一般市民

5 ボランティア事業（会費・共同募金）

社協が活動費を助成しているボランティア団体40団体
内訳（20,000円38団体 10,000円2団体）

① ボランティア事業

開催日 回数等	事業名	延べ参加者数
8月1日、2日	夏休みボランティアスクール	17名
9月16日	ボランティア交流会	141名
8月22日、2月20日	サロンボランティア研修	100団体
3月19日	社会参加セミナー	82名
毎月1回（第3水）	男性ボランティア定例会	120名
毎月1回（第2火）	女性ボランティア定例会	60名
毎月1回（第3木）	話し相手ボランティア定例会	96名
ゴミ拾い6回 花植え3回	花植えゴミ拾いボランティア活動	75名
随時	福祉ボランティア活動	56名

② 福祉ポスターの募集（会費・共同募金）

応募数 821点

最優秀賞1点・優秀賞3点・佳作7点・審査員特別賞2点 福祉大会において表彰

③ 防災ボランティア育成・啓発活動

開催日	事業名	延べ参加者数
5月15日	災害・防災ボランティア地区連絡会全体会	43名
8月1日～2日	夏休み防災ボランティアスクール	7名
8月25日	災害防災ボランティア養成講座	67名
11月11日	藤田地区避難所、災害ボランティアセンター訓練	30名
12月2日	防災講演会	100名
12月3日	災害ボランティアセンター設置運営講座	101名
3月11日	防災ボランティア意識啓発活動	20名

6 各種団体等との連携

① 市老人クラブ連合会事務局

・正副会長会議 4回 理事会 4回

市老人クラブ連合会事業

・ゲートボール大会・グランドゴルフ大会・囲碁大会・講演会・高齢者作品展・理事交流会・単位クラブリーダー研修会

② 山梨県共同募金会南アルプス市支会事務局

●配分金事業

事業名	事業内容	配分額（円）
地域社会福祉事業（A4）	福祉ポスターの募集 学校での福祉教育	768,000
	地域福祉活動計画評価事業	100,000
あったかサービス事業（A6）	ふれあい生き生きサロン助成事業	900,000
地域における防災・減災のまちづくり事業（A7）	地域への防災・減災の啓発活動など	300,000
みんなで地域をよくする事業（A7）	一次相談事業・ふくし小委員会・地域福祉活動団体助成	300,000
市町村社協地域福祉活動事業（B1）	ボランティアだより発行	2,500,000
	福祉運動会開催事業	762,000
小地域福祉活動事業（B2）	ふれあい広場助成事業	600,000

地域福祉活動団体推進 (B3)	ボランティア団体育成事業	650,000
歳末たすけあい事業(C)	学用品支援事業	100,000
計		6,980,000

●街頭募金活動

10月2日(月) 社協理事・ボランティア・福祉施設・職員により市内8カ所において実施

7 成年後見センター

判断能力は低下しているが契約能力のある方が対象となる「日常生活自立支援事業」と本人に代わって契約行為や財産管理を行う「成年後見」を行っている。また権利擁護に対して研修や啓発活動を行うなか、成年後見市民講座の研修を修了した市民生活支援員も平成29年度には3名加わり9名が活動している。そのうち1名は市民後見人の活動を予定している。市民の関心は高まっているが、潜在的ニーズの発見やつなぎには今後も研修や啓発活動が必要である。

① 後見センター委員会関係

委員会名	回数	備考
成年後見センター運営委員会 (日常生活自立支援事業推進委員会兼ねる)	3回	センターの事業内容等方向性について検討
後見業務検討委員会	3回	後見受任の可否・支援内容等の検討

② 人材育成

内容	日程	備考
日常生活自立支援事業生活支援同行訪問	6日間	29年度講座受講者
成年後見市民講座	8月2日 8月9日 8月23日 8月30日 9月6日	成年後見制度・日常生活自立支援事業について 参加者希望者21名 同行実習者6名

市民生活支援員9名 担当人数 後見1名 日常生活自立支援事業18名

③ 日常生活自立支援事業契約件数推移(福祉サービス利用援助事業・県委託事業)

平成29年度新規契約件数	12件	認知9 知的1 精神2 その他0
平成29年度終了件数	12件	認知8 知的1 精神2 その他1
契約件数	80件	認知27 知的28 精神22 その他3

延べ相談支援回数	7,017回	担当者会議含む
----------	--------	---------

④ 法人後見関係受任件数推移

平成29年度新規受任件数	6件	後見5 保佐0 補助1
平成29年度終了件数(死亡)	1件	後見1
受任件数	15件	後見12 保佐2 補助1
延べ相談支援回数	584回	担当者会議含む

⑤ センター相談受付状況

平成29年度新規相談件数	72件	
延べ相談支援回数	307回	担当者会議含む
後見相談会	5件	

⑥ 職員の資質向上(研修・啓発活動)

内 容	日 程	場所・主催者等
生活支援員学習会【講師】	4月18日	社協本所・成年後見センター
権利擁護人材育成事業オリエンテーション【講師】	5月9日	市役所
ふくし相談支援センター学習会【講師】	6月13日	社協本所・地域福祉課
日常生活自立支援事業専門員会議【参加】	6月30日	県社協
家庭裁判所連絡会議【参加】	7月10日	家庭裁判所
社協関東ブロック研究協議会【参加】	7月13,14日	埼玉県社協
日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修Ⅰ【参加】	7月18,19日	全社協
あゆみの家事例検討会【講師】	7月25日	あゆみの家
ふくし勉強会【講師】	7月30日	生涯学習センター・地域福祉課
地域福祉計画評価委員会【参加】	8月3日	市役所
地域福祉活動計画評価委員会【参加】	8月30日	社協本所
県立大学社会福祉士実習指導【講師】	8月14日～9月14日	社協本所他
生活支援員研修会(1日目)【参加】	8月21日	県社協
生活支援員研修会(2日目)【参加】	8月25日	県社協
蕪崎市包括支援センター・蕪崎市社協視察研修受入【講師】	9月4日	社協本所
富士川町包括支援センター・富士川町社協視察受入【講師】	9月24日	社協本所

県立大学グループ実習【講師】	10月16日 他4日	社協本所他
日常生活自立支援事業運営適正化委員会【参加】	10月4日	県社協
市区町村社会福祉協議会管理職員研修【参加】	10月15日～ 17日	全社協
公証役場視察研修【参加】	10月30日	公証役場・成年後見センター
若草民児協研修会【講師】	11月28日	民生児童委員
関プロ社協職員研究大会実行委員会【参加】	11月30日	県内社協職員（実行委員）
社協職員研修会【参加】	12月13日	南アルプス市社協職員
コスモス成年後見サポートセンター視察研修【講師】	12月13日	コスモス会員
関プロ社協職員研究大会実行委員会【参加】	12月21日	県内社協職員（実行委員）
県立大学実習報告会【参加】	1月16日	県立大生・社協実習指導者
関プロ社協職員研究大会実行委員会【参加】	1月30日	県内社協職員（実行委員）
地域福祉計画施策推進会議【参加】	2月2日	地域福祉計画策定作業部会参加者
生活支援センタークローバー事例検討会【講師】	2月13日	計画相談
社協職員研修会【参加】	2月13日	南アルプス市社協職員
権利擁護・虐待防止セミナー【参加】	2月13日	社協職員（全国）
関プロ社協職員研究大会実行委員会【参加】	2月27日	県内社協職員（実行委員）
関プロ社協職員研究大会実行委員会【参加】	3月19日	県内社協職員（実行委員）
現任生活支援員学習会【講師】	3月27日	社協本所

8 地域交流拠点事業（しゃきよんの家下町）

① 来所者数

種別	延人数（団体数）	備考
視察団体	1団体	延べ団体数（県立大4回）
昼食提供者	29名	延べ人数
来所者数	1,300名	（デイ利用者は除く）
学生実習受け入れ	69名	白根巨摩中 1名 社会福祉士実習 68名

② 拠点貸出

内容	貸出回数	備考
囲碁クラブ	20回	延べ 159名参加

③ 学習会・体験・講演会（イベント）

事業名	開催回数	延参加人数	備考
映画鑑賞	9回	66人	
笑いヨガ・ゆる体操・体操教室 等	64回	599人	
音楽関係講座	67回	500人	
教養講座	32回	445人	歴史、調理、絵画、雑学、手芸等

④ 地域との連携

会議名	開催日	参加者数	備考
地域福祉会議	8月22日	10人	民生委員、町内会長、病院、老人クラブ、社協関係者
下町世代間交流実行委員会	4月7日 5月23日 6月3日 6月5日 10月25日 11月3日 11月4日 11月13日	延べ90人	民生委員、愛育会役員、健康増進課、サロン代表、市生活支援CD、社協、イベント参加者
地域イベント	6月3日 11月4日	延べ100人	花めぐり ハロウィン

9 養護老人ホーム慈恵寮の運営（指定管理）

平成29年度も、入所者減の中で入所者の生活の質を下げずに、行事の検討等経費削減に職員一同が取り組んできた。県下の養護老人ホームは全て定員割れの中、どこも経営的に厳しい状況下にある。昨年度は、廃園となる施設や縮小した施設もあったが、南アルプス市でも、平成29年11月から「慈恵寮のあり方検討会」が開催され、今後の慈恵寮の方向性を検討中である。

施設の老朽化、入所者の減少、要介護状態や精神疾患等の入所者の増加など、支援の面において課題もあるが、入所者の安定した生活を第一に考え、老人福祉施策の一端を担う役割を認識しながら、慈恵寮の今後について市と連携しながら進めていきたい。

① 現況（平成30年3月31日現在）入所者数 29名（50名定員）

・月別入所者数（H29.4～H30.3の毎月1日現在）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
35名	34名	34名	34名	34名	34名	34名	34名	34名	34名	33名	31名

・職員数 13名 施設長1 施設運営係 係長兼生活相談員1
生活相談員1 支援係 係長1 栄養士兼支援員1
看護師2 支援員5 洗濯業務1

・学生実習受け入れ 3名（7月白根高校インターンシップ1名・9月県立大2名）

・職員研修

研修日	内容	参加者
4月24日	施設従事者のための虐待について（寮内）	10名
5月1日	救急救命講習会（職員・入所者・厨房・宿直対象）	37名
5月15日	感染症対策委員会（寮内）	6名
6月29日	熱中症について	11名
7月4日	「地域におけるプランディング戦略を学ぶ」	1名
8月25日	事故防止委員会～危険個所の確認～（寮内）	6名
8月23日	救急救命講習（社内）	1名
9月13日	「精神障がいへの理解を進める会」	1名
9月29日	現場ですぐに使えるレクリエーション研修	1名
11月9日	虐待防止・権利擁護基礎研修	1名
11月20日	事故防止委員会～転倒・入浴時・誤嚥等～（寮内）	6名
11月20日	感染症対策委員会	7名
11月27日	介護記録の書き方（応用編）研修	1名
12月8日	高齢者権利擁護等事例等報告検討会	1名
12月13日	「南アルプス市社協の将来について考える」	3名

・意見箱への投書 1回

② 主な実施行事

月日	事業内容	月日	事業内容
4月6日 12日 19日	お花見(天候不順のため寮内) 寮内買い物レク 読み聞かせボランティア来寮	10月7日 7～9日 20日	楡形地区文化祭作品搬入 文化祭出展 期日前投票
5月1日 10日 19日 30日 31日	救急救命講習会 さつま芋の苗付け TDKバラ見学 BBQ（天候不順のため寮内） 春の花植え	24日 25日 31日	交流運動会（柿平いきいきクラブ・中央保育所・近隣住民） 炊き出し訓練（ほうとう）
6月8日 6月14日 15日 25日 30日	体協舞踊部の慰問 春レク さくらんぼ狩り (2日間) 柿平第2町内会との合同練習 (雨天のため中止) 七夕飾り	11月4日 5日 14日 15日 24日 28日 29日	柿平子供クラブと落ち葉掃き キャンディーステーション実施 本の読み聞かせ 愁柳会慰問（カラオケ・舞踊） 小笠原小学校4年生交流事業① 秋レク（紅葉めぐり、オーチャードにて食事、買物） インフルエンザ予防接種
7月20日 22日 28日 30日	納涼盆踊り大会 (柿平子どもクラブボランティアで参加・地域住民協力、参加) 鯛の貼り絵作り おやつ作り（たこやき） 楡形荘納涼会参加	12月7日 9日 12日 14日 15日 21日	あなたの希望叶えます クリスマスツリー飾り付け 防災訓練実施（火災想定） 居室大掃除 小笠原小学校4年生交流事業② 誕生会・忘年会

8月13日 13日 14日 22日 23日 24日	棚経・お盆迎え火 柿平盆踊りへ参加 手作りおやつ(かき氷) 本の読み聞かせ 厚生連一斉検診(1回目) 防災講話(寮内)	1月12日 20日 26日	柿平地区のどんと焼き (団子作り) リトルシニア落ち葉掃きボラ 新年会(夢ロマン)
9月15日 19日 20日 20日 25日	市長市内最高齢者慶祝訪問 ぶどう狩り(原田農園) 内科一斉検診 夜間避難訓練 生け花ボランティア来寮	2月2日	節分豆まき 集団感染により行事中止
		3月7日 14日 16日 27日 28日	おやつバイキング 内科一斉検診 厚生連一斉検診(2回目) 歯科一斉検診 お花見ドライブ

※ 誕生会は毎月末におやつ時実施 12月は忘年会と誕生会を共に開催

※ 毎月講師指導のもとクラブ活動を実施(音楽・書道・華道・ゆる体操・健康体操・舞踊)

《介護保険部門》

1 居宅介護支援事業(ケアマネジメント)

介護認定を受けている利用者の個々の状況に合わせて、利用者主体の居宅介護計画(ケアプラン)作成に取り組んできた。地域で暮らすという視点でケアマネジメントを行っており、介護サービスの他に地域支援者や多職種との連携を強化している。29年度は介護支援専門員5名体制で、特定事業所加算Ⅱを取得し、件数管理を行うことで経営面の安定に努めてきた。主任介護支援専門員は3名配置することが出来、山梨県からの依頼で介護支援専門員実務研修の演習助手や実習受入協力事業所となり、地域の介護支援専門員の支援をする役目も担っている。事業所で行うケアマネジメントは支援困難な状況や複雑な背景に置かれているケースも多いが、日々の事例の検討・検証により研鑽を積み、個別の課題解決が地域の課題解決につながるよう地域包括ケアにむけて進めている。

新規依頼の相談(年間) 66件 うち支援開始30件
カンファレンス・担当者会議 259件

① 介護保険

介護度	年間利用者数 (延べ)	月平均件数 小数四捨五入
要介護1	703	59
要介護2	612	51
要介護3	477	40
要介護4	279	23
要介護5	157	13
合計	2,228	186

中重度者(介護3~5)の割合は全体の40%となっている。

② 介護予防

介護度	年間利用者数 (延べ)	月平均件数 小数四捨五入
要支援1	0	0
要支援2	64	5
合計	64	5

③ 研修

研修名 (主催・項目)	内容 ()は受講人数	受講者数 合計
山梨県	・予防ケアマネジメント(1)・雇用管理(1) ・困難事例(1)・苦情解決(1)・認知症地域連携(1)	5名
南アルプス市	・地域包括支援センターによるアセスメント研修(3)・在宅医療介護連携(3)・総合事業(1)・多職種連携(2)・高齢精神障害者の地域移行(1)・総合事業説明会(1)・共生社会包括的相談支援(1)・自立支援に資するケアマネジメント(2)・支え愛の地域づくり(2)・自立支援に向けたサービス事業所の取り組み(2)・主任介護支援専門員事例検討会(3)・その人の想いを実現できるチーム作り(3)・事業者全体会議「ICFとアセスメント」(2)	26名
(県・峡中)介護支援専門員協会	地域連携(2)・介護保険制度(5)・質の向上(1)・主任介護支援専門員フォローアップ(2)・課題整理総括表(3)・ケアマネジメント基礎研修(1)・地域支部連携大会(3)・障害福祉サービス(2)・終活(2)・在宅医療講演会(5)	26名
社協主催	権利擁護制度(1)・協働のための多職種連携(5)	6名
課内研修 自主研修	居宅介護支援事業所運営基準(6)・高齢者に多い疾患(6)・防災マニュアル確認(6)・介護サービスの概要(7)・社協の倫理(5)・口腔ケア(6)・介護支援専門員のマナー(6)・熱中症(5)・集団指導の伝達(6)・モニタリング(5)・带状疱疹(5)・ファイリングと記録(4)・インフルエンザについて(5)・困難事例(5)・食中毒(5)・寒さ対策(5)・苦情対応とリスクマネジメント(5)・社会資源(5)・冬の乾燥と風邪予防(5)・居宅支援課の防災・安全対策(4)・花粉症(5)・冬の突然死について(5)・事例検討会について(5)	121名

社協内全体研修	地域福祉活動計画(5)・防災ボランティア養成講座(3)・南アルプス市社協の将来について考える(3)・南アルプス市社協の現状を知る(3)・ファンドレイジングについて(2)	16名
その他(医療機関の主催等)	認知症地域連携(2)	2名
課内事例検討会	7回	38名

④ 実習受け入れ

県立大学(ソーシャルワーク)1日実習(8~9月)	3名	(計3日間)
健康科学大学(ソーシャルワーク)1日実習(1月)	2名	(計1日間)
平成29年度介護支援専門員実務研修 実習(1月~2月)	3名	3日間(計9日間)

⑤ 研修の演習助手派遣

山梨県介護支援専門員実務研修・再更新研修(山梨県社会福祉協議会)	2名	(2・3月 計2日間)
----------------------------------	----	-------------

2 通所介護事業(デイサービス)

デイサービスゆうかりは、介護予防運動指導員を配置し予防事業の一環として通所型サービスAの受け入れも行って来た。「温泉に入れるデイサービス」として周知され、困難事例にも対応してきたが軽度者が全体の7割近くを占めている状況は昨年度と変わっていない。しかし稼働率は昨年度より上げる事が出来た。併せて障がい福祉サービスの生活介護の事業も実践し共生介護を実践してきた。

デイサービスセンターわかくさは、例年通り中重度者や困難事例を積極的に受けるため「職員・看護師の人員体制」を充実させ中重度者ケア体制加算が取れる体制作りを引き続き行い、利用者、家族に最大限寄り添いながら連携を図り、ニーズに対応すべく朝、夕の時間延長等によりしっかりと対応してきた。その結果前年度より収益を上げることができた。

平成28年度から市町村が管轄する地域密着型サービスへ移行したデイサービスしゃきよんの家下町は、地域との繋がりや交流を希望される比較的介護度の低い利用者を受け入れ、地域住民も参加できる行事を実施してきた。また、施設利用を嫌がる男性利用者も、家庭的な雰囲気や交流拠点との連携にて利用に繋がっている。

デイサービスの方向性が問われる中であるが、3事業所それぞれが特徴を活かしながら利用者獲得にも力を注ぎ、利用者一人ひとりに寄り添った介護を大切に、高齢者のみでなく誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう幅広いサービスの展開を行ってきた。

① 利用状況

事業所名	定員	年間開設日数	1日平均利用者数	延べ利用者数	稼働率
デイわかくさ	30	310	20.0	6,220	66.9%
デイゆうかり	30	310	24.5	7,609	81.8%
しゃきよんの家下町	10	310	8.0	2,479	78.0%

② 介護度別利用者

事業所	要支援 1		要支援 2		介護 1		介護 2	
	延べ人数	延べ回数	延べ人数	延べ回数	延べ人数	延べ回数	延べ人数	延べ回数
デイわかくさ	0	0	13	107	106	1,237	109	1,351
デイゆうかり	0	0	33	254	280	2,639	230	2,414
しゃきよんの家下町	0	0	4	339	57	760	61	794
合計	0	0	50	700	443	4,636	400	4,559
事業所	介護 3		介護 4		介護 5		合計(延べ)	
	延べ人数	延べ回数	延べ人数	延べ回数	延べ人数	延べ回数		
デイわかくさ	68	757	121	1,401	87	1,070	5,923	
デイゆうかり	146	1753	44	365	7	37	7,462	
しゃきよんの家下町	48	589	0	0	0	0	2,482	
合計	262	3,099	165	1,766	94	1,107	15,867	

わかくさデイ

* 要支援 1・2の内 総合事業 延べ人数 12名 延べ回数 100回

* 基準該当障害福祉サービス 延べ人数 12名 延べ回数 199回

デイゆうかり

* 要支援 1・2の内 総合事業(通所型サービスA) 延べ人数 33名 延べ回数 135回

* 基準該当障害福祉サービス 延べ人数 12名 延べ回数 100回

③ 年間の主な行事

- ・お花見会
- ・保育園児との交流
- ・夏祭り
- ・おやつづくり
- ・紅葉狩り
- ・クリスマス会
- ・節分会
- ・誕生会
- ・地域住民の交流
- ・福祉運動会への参加
- ・小学生との交流
- ・1年間ご利用者さんへ写真アルバム(デイでの活動様子)プレゼント
- ・映画鑑賞 子育てサークルとの交流会

④ ボランティア協力状況

事業所	定期的なボランティア数	訪問ボランティア団体数	訪問ボランティア回数
デイわかくさ	延べ 518人	24	124
デイゆうかり	延べ 110人	25	120
しゃきよんの家下町	延べ 275人	4団体他個人	325

⑤ 研修会

研修名	内 容	参加者数
福祉サービス苦情解決事業研修会	クレーム対応研修	2名

感染症対策講座	レジオネラ感染症	2名
南アルプス市セミナー 事業所部会研修	通所部会（各事業所における業務について他）、ソーシャルワークセミナー・その人の思いをつなぐ連携	13名
社協職員研修	福祉経営実務研修・メンタルヘルス研修・南アルプス市社協の将来について考える・防災ボランティア養成講座	25名
介護職員指導者研修	介護の現場で予想される病気・事故	1名
管理者研修	経営戦略セミナー・雇用管理者研修	2名
虐待基礎研修	・施設従事者向け 虐待防止・権利擁護基礎研修	1名
高齢者権利擁護研修	権利擁護セミナー（福祉従事者のための権利擁護制度）	4名
施設内研修	長谷川式簡易知能評価スケールについて、介護記録の書き方、介護報酬改定について、認知症マニュアルについて・福祉避難所設置について	23名
介護職員テーマ別研修	・病気・事故対応 クレーム対応・介護記録の書き方応用編、他	3名
山梨県老人福祉施設協議会	・傾聴能力向上研修・私らしく好きを見つけてレクシュアリング	3名
市主催 多職種合同意見交換会	在宅医療講習会・自立に向けたサービス事業所の取り組み	7名
山梨県国保連介護保険事務担当研修	介護事故について	2名

実習受け入れ

甲斐清和高（施設実習）1名 インターンシップ（巨摩中）1名
 優和福祉専門学校（介護福祉士養成）4名
 社会福祉士実習生（県立大学）64名

3 訪問介護事業（ホームヘルパー派遣）

介護を必要とする高齢者や障害者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい在宅生活が送れるよう、介護保険・障害者総合支援法・移動支援事業等によるホームヘルプサービスを実施している。すべての事業において地域包括ケアシステムに向けた「自立支援」「地域で暮らすための支援」「重度者への介護技術の向上」が必要とされ、事業所全体で介護技術の研鑽を積み、地域で暮らしていくための関係者との連携を図り、利用者一人一人の個別課題に向き合って支援していくことに努めている。

① 介護保険事業（訪問介護・総合事業訪問型サービス・訪問A）

サービス提供日数	延べ利用者数
365日	1461人

② 障害者総合支援事業(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)

サービス提供日数	延べ利用者数
365日	685人

③ 地域生活支援事業(移動支援)委託事業

利用者数	40名	延べ派遣回数	1577回
------	-----	--------	-------

④ 制度外サービス

年間延べ利用者数(訪問回数)	46名(73回)
----------------	----------

⑤ 養育支援訪問事業 委託事業

利用件数	1件	派遣回数	9回
------	----	------	----

⑥ 研修会

研修名	内 容 ()内は参加人数	参加者数
事業所内部研修会	・ヘルパーマニュアル(28)・緊急時(33)・食中毒(33)・熱中症(33)・腎臓食(5)・記録(5)・食中毒(34)・インフルエンザとノロウイルス(33)・個人情報保護(5)・虐待(35)・介護保険制度と支援内容(10)	254名
市訪問部会・居宅部会	・特別食(21)	21名
介護福祉士会	・関東ブロック大会(2)	2名
専門研修	・同行援護研修基礎編(1)応用編(1)・サービス提供責任者研修(3)・難病疾患等ホームヘルパー養成研修(1)・福祉有償運送運転者講習会(1)	7名
山梨県	・介護サービス事業者集団指導(1)・障害福祉サービス集団指導(1)・介護保険制度改正事業者説明会(1)・障害福祉サービス制度改正事業者説明会(1)	4名
南アルプス市包括・福祉	・障害の理解(1)・在宅療養連携(1)・総合事業説明会(2)・地域包括ケアシステムについて(1)・共生社会を考える(1)・事業者研修「自立支援に向けた事業所の取り組み」(1)	7名
社協内全体研修	・南アルプス市社協の将来を考える(4)・南アルプス市社協の現状(5)・防災ボランティア養成講座(3)・地域福祉活動計画のための研修(5)・救急救命法(38)	55名
社協主催研修	・協働のための多職種連携(2)	2名
その他	・制度改正に向けた事業計画(1)・面談の活用術(1)・OJT(1)・高齢者見守りネットワーク「制度改正に向けて」(1)・24時間定期巡回型訪問介護(3回・計10)	14名

⑦ 講師派遣・協力

- ・ 9月3日 あやめが丘自主防災会防災訓練「応急手当の訓練」(1名)

⑧ 訪問介護実習等の受け入れ

4校 7名

(6日間)

- ・ 優和福祉専門学校(介護福祉士)1年生 1日見学実習2名(6月) (計1日間)
- ・ 職場体験学習 白根巨摩中学校2年生 1日見学実習1名(7月) (計1日間)
- ・ 県立大学(ソーシャルワーク) 1日間実習2名(8月) (計2日間)
- ・ 帝京福祉専門学校(介護福祉士)2年生 2日間実習2名(11月) (計2日間)